

発行日:令和 5 年 3 月 16 日

担当:会員サービス課 service@niigata-cci.or.jp

〒950-8711 新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル7階

URL <https://www.niigata-cci.or.jp> E-mail office@niigata-cci.or.jp

新規回答者
募集中!

調査精度の向上目指し、4月1日システム刷新 ～早期景気観測調査へのご協力を！！～ 景気認識について、生の声をお聞かせください！



当所の各種事業を構築する際の基礎資料等として活用することを目的に、会員の皆様「肌で感じる足元の景況感」を毎月調査しております。

皆様の「売上」「採算」「仕入単価」等についての評価（3段階）と、直面している経営上の問題等（自由記述）について毎月ご回答いただいております。集計結果につきましては、毎月当所 HP と会報へ掲載されます。

早期景気観測調査票(2023年2月分)

当調査にご協力頂き誠にありがとうございます。※月の動向につきましてご協力をお願い申し上げます。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、*月*日(*)までにご返送下さい。なお、本調査は景気観測の目的以外には使用いたしません。何卒よろしくお願いいたします。

事業所名: 株式会社サンプル事業所

Email: aaaa@niigata-cci-mail.net

売上について

今月の売上は前年同月と比較して

☒ 増加 ☐ 不変 ☐ 減少

今後3ヶ月間の売上見通しは今月と比較すると

☒ 増加 ☐ 不変 ☐ 減少

要因・動向

上記回答の主な要因とともに現状での業界・貴事業所におけるトピックがございましたら、下記のキーワードを中心にコメント欄にお寄せいただきますようお願いいたします。

キーワード

・第3波・家庭内感染・インフルエンザ・予防接種・飲み会・宴会自粛・イベント・消費
・円安・円高・輸出・輸入・電気料金・物価高・中古車・エネルギー・ガソリン・天然ガス
・原材料高騰・価格転嫁・人手不足・賃金・設備投資・人流・観光・中国・ロシア・ウクライナ
・G7・インボイス・天候・降雪

コメント入力

貴事業所におけるトピックがございましたら、こちらにキーワードを中心に入力してください。

回答画面イメージ



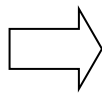
<https://is.gd/IXOpnT>

集計結果



<https://bit.ly/3yfFSAE>

実際の回答画面と集計結果は右記 QR と URL からご確認いただけます。



お忙しいところ恐れ入りますが、新たにご協力いただける事業所様につきましては、右記 QR か URL からご回答をお願いいたします。



<https://is.gd/uYdrL7>

【お問合せ】 会員サービス課

TEL: 025-290-4209 (土日祝日を除く 9:00~17:30)

第22回「女性起業家大賞」表彰者募集のご案内

女性起業家を
応援します！

全国商工会議所女性会連合会では、地域の女性経営者への支援事業の一環として、2002年度から「女性起業家大賞」を実施しています。本年も、「感動・変革への挑戦」をキーワードに、女性ならではの「しなやかな感性」による商品・サービスを「思いやりのネットワーク」をもって事業化し、その後も「成功への信念」を抱き続け「たゆまざるイノベーション」に挑戦する女性起業家を応援します。

【表彰対象】

創業期（創業から10年未満）の女性経営者で、日々、経営革新・創意工夫に果敢に取り組み、他の女性経営者の範となる企業経営・事業展開・事業発展等実績を挙げている方。

【募集期間】

2023年2月1日（水）～4月14日（金）

【表彰式】

最優秀賞、優秀賞の受賞者を1ページ目に記載の「第55回全国商工会議所女性会連合会新潟全国大会」（令和5年10月5日（木）～6日（金））にお招きし、表彰いたします。

詳細・応募は下記URLか右記QRから

<https://joseikai.jcci.or.jp/kigyoka/2023/oubo.html>

【お問合せ】 会員サービス課

TEL：025-290-4209（土日祝日を除く 9：00～17：30）



第2回「にいがた2km×8区」ビジネス連携促進 に係る説明会開催のご案内

新技術が体験
できます！



新潟市では、「にいがた2km」と称し、新潟駅から万代、古町までの都心軸（2km）を成長エンジンとして人・モノ・情報の中心拠点となる稼げる都心づくりと8区の魅力とのコラボレーションによる新たな価値の創造を目指しています。このたび、「にいがた2km×8区」のコラボレーションによって生まれる新たなビジネスチャンスの創出について、取組事例の紹介などを通じて、多くの事業者の方に知っていただくことを目的とした説明会を開催します。

【日時】 令和5年 3月22日（水）13:30～16:00（予定）

【会場】 新潟市産業振興センター・5G ビジネスラボ

【対象者】 個人事業主を含む事業者の方

【内容】 「にいがた2km×8区」の取組事例やビジネスモデルの紹介、補助金の活用などに関する新潟市からのお知らせ、電動キックボードやメタバースなどの新技術体験会など

【申込締切】 令和5年 3月20日（月）

詳細・申請は下記URLか右記QRから

<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/2km8kusetsumeikai.html>

【お申込み・お問合せ】 新潟市 都市政策部

TEL：025-226-2716 FAX：025-229-5150

MAIL：niigata2km@city.niigata.lg.jp

参加費
無料



新潟市食文化創造都市推進会議より

「2023 年度 新潟市食文化創造都市

推進プロジェクト支援事業」のご案内

新潟市食文化創造都市推進会議では、新潟市の食や食文化による創造的なまちづくりを推進するための取組を支援します。異業種の事業者が連携して実施する事業（長期的に継続が見込まれるもの）が対象となります。連携事業者をお探しの場合、事務局が会員同士の連絡調整も行うことも可能です。

【助成対象者】

①本プロジェクト申請時に、新潟市食文化創造都市推進会議の会員であること

※会費無料、申請時の申し込み可

②申請するプロジェクトの関係者に暴力団関係者を有していないこと

③国、地方公共団体およびそれらが出資する団体が申請者あるいは連携事業者ではないこと

④国、地方公共団体およびそれらが出資する団体から助成金を受けていないこと

【助成対象事業】

下記の項目のすべてに該当する事業を助成対象事業とする

- ・原則として、2024 年 3 月 15 日（金）午後 5 時までに実施報告書を提出できる
- ・異業種の会員が連携し、**継続の意志**がある
- ・実施する取組で「新潟市食文化創造都市推進会議の目指す姿」をふまえた下記の項目のいずれかに該当する

①新潟市の食文化・食産業の新たな魅力や価値を生み出す取組

②新潟市の食の新たな魅力を内外にアピールする取組

③新潟市の食文化の活性化につながる取組

④新潟都心のまちづくり「にいがた 2 km」の主旨に沿った取組

【助成内容】

メニュー	補助率	上限	説明
チャレンジプロジェクト	全額	30 万円	過去に採択されていない取組
育成発展プロジェクト	2 分の 1	50 万円	過去に 1～2 回採択された取組

※プロジェクトの助成は 2023 年度新潟市予算原案に基づいて行うものであり内容が変更となる場合があります。

【申請期間】

令和 5 年 **4 月 1 日**（土）～**4 月 12 日**（水）

【採択方法】

一次審査（書類審査）、二次審査（プレゼンテーション審査）で採択する事業者を決定

【申請方法】

各種様式一式に必要事項を記入のうえ、メール・郵送・事務局窓口へ持参のいずれかで提出

詳細・申請は下記 URL か右記 QR から

<https://www.niigata-shokubunka.com/project/>



【お問合せ】新潟市食文化創造都市推進会議事務局（新潟市農林水産部 食と花の推進課内）

TEL 025-226-1802 MAIL : info@niigata-shokubunka.com

今月のテーマ『成年後見人制度の活用』

平成 29 年に閣議決定された成年後見人制度利用促進基本計画（「基本計画」）をご存じですか。ここでは、1 利用者がメリットを実感できる制度・運用の改善、2 権利擁護支援の地域連携ネットワークづくり、3 不正防止の徹底と利用しやすさの調和が挙げられています。

しかしながら介護施設・地域では成年後見人制度の利用希望は多いものの、次のような理由で実際には制度活用に至らない場合が多くあります。

1. 申立手続き

相談者とのコミュニケーションはとても重要ですが、対象となるご本人、申出人、親族の意向承認、介護施設長、ケアマネージャーとの打合せ、本人情報シートの作成、病院相談員や医師との面談等、人との関わりがたくさん出てきて大変です。

また、ご兄弟が多い場合、身体体調理由に意向承認が進まないことも多くあります。

これらの問題については時間をかけて丁寧に進めることが重要で、場合によっては裁判所職員に相談することが近道になることがあります。

2. 法定後見人制度活用に当たって

申出人と後見人候補者との意思疎通がとても重要です。ご本人、申出人、後見人候補者とのコミュニケーションを保つことを意識することが大切です。

3. 成年後見人制度利用時の報酬について

成年後見人制度利用につき、報酬の支払いに不安を感じる場合は報酬助成制度の活用を検討をお勧めします。

（1）成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が必要であるにもかかわらず、身寄りがない等の理由で申し立てができない、また、資産に乏しく申立費用、後見人等報酬を負担することが困難である場合、これらの費用の一部または全部を助成する制度です。

※対象者の条件有（要綱確認）。

（2）公益信託成年後見助成基金

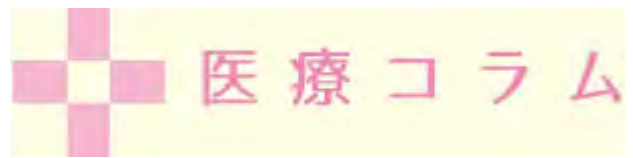
（公社）成年後見センター・リーガルサポートが発足させた基金でリーガルサポートの会員でなくても利用できるといわれています。本人の財産が少なく後見事務の内容に照らし合わせて適正な報酬を得ることが困難と思われる場合で、親族以外の後見人等が利用できます。

制度の今後の課題について

現状では関係する業界だけが制度を熟知しており、社会一般への周知が不足している状態です。基本計画の「2」権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりについて実効性のある、生きた内容が必要です。言い換えるならば積極的な官民協働事業・ネットワークの構築や、予算に裏付けられた実務行動が強く望まれるところです。

朝食と心の健康との関係

(一社)新潟県労働衛生医学協会
健康づくり推進部 保健師 丸山 要子



朝食は心の健康を保つカギとなります。朝食は体内時計や血糖値のコントロールに重要な役割があります。朝食を食べて春を健やかに迎えましょう。

1 朝食と心の健康との関わり

心の健康を保つためには、体内時計のリズムを整えることが大切です。体内時計のリズムは、脳にある親時計と、皮膚や内臓、血管などにある子時計との相互作用によって巧みに調節されています。朝の光は親時計、朝食は子時計に働くため、朝に光を浴びるだけでなく、朝食を食べることが重要です。また、朝食を食べ、血糖値を安定させることも大切です。朝食を抜くと、昼食後や夕食後の血糖値は急激に上がり、その後急降下します。血糖値が乱高下すると、血糖値を調整するホルモンの分泌が乱れ、疲労やイライラ、不安感を招きます。

2 朝食を食べる習慣をつけるためのポイント

朝食を食べない理由として、お腹が空かない、食べる・作る時間がないなどが挙げられます。以下のポイントを参考に、朝食を食べていない方は少しずつ食べる習慣をつけましょう。

① 夕食を食べる量・時間を調整する

夕食をたくさん食べてしまうと、朝起きたときにお腹が空かず、朝食を食べる気になりにくいです。また、夕食を就寝に近い時間に食べると、消化活動が睡眠の妨げとなり、質の悪い睡眠となります。朝なかなか起きられず、食べる時間がなくなるという悪循環につながります。

② 簡単に食べられる朝食を準備する

朝食を食べる習慣がもともとない方は、急に朝食を食べようとしても体が受け付けない場合もあります。無理をせず、牛乳や野菜ジュースなどの飲み物から始めて、少しずつ慣れていきましょう。また、朝食を食べる・作る時間がない方は、バナナ、おにぎり、栄養補助食品など、調理に手がかからず、ワンハンドで食べられるものを前日から準備しておくことをおすすめします。

なお、当会では、保健師、管理栄養士による生活習慣に関するセミナーをおこなっています。どうぞお気軽にご連絡ください。

TEL : 025-370-1945

(新潟県労働衛生医学協会 健康づくり推進部)



ご紹介ください！おひとり一社



お取引先、関連会社などでご入会いただいていない事業所がございましたら、是非ご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただいた事業所が加入した場合、年度を通算した件数に応じて、新潟市・佐渡市共通商品券を贈呈いたします。

年度を通算して、紹介件数1件から4件までは1件につき1,000円

紹介件数4件を超える分は1件につき2,000円

(※) ご紹介元は会員の方に限らせていただきます。

会員紹介のご連絡は下記 URL か右記 QR から

<https://www.niigata-cci.net/formsys/public/form/265>

【お問合せ】会員サービス課 TEL : 025-290-4209





渡辺 和博／わたなべ・かずひろ 日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援している。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』（日経BP社）。

「信長の水」を体験して思ったこと

安土桃山時代の名前の由来となった安土城は、織田信長が最後に建てた城で、滋賀県近江八幡市安土町にある城址に名残をとどめています。そのお膝元に当たる場所に、織田信長が茶の湯のためにくませた湧き水「梅の川」がありました。現在は地下水の水位が少し下がったために「梅の川」の水は枯れていますが、すぐ近くに今もちゃんと水が湧いている場所が何カ所もあります。

そんな湧き水スポットの真上に建てられた料亭で、食事をする機会がありました。地元で採れる川魚や野菜、果物などをランチのコース料理でいただいたのですが、最初に日本酒を飲むぐい飲みサイズのグラスで、厨房に湧いている水がそのまま何の味付けもせずに出されました。水の味の微妙な違いを私が分かるわけではありませんが、信長もこの水のおいしさを理解してわざわざ求めていたのかと思うと、何か貴重なものをいただくような厳かな気持ちになりました。たった一口の水ですが、私にとっては強く記憶に残る体験となりました。

料亭でいただいたコース料理は、どれもきれいな器に盛りつけられていて、それぞれの素材の味を生かしながら見た目も美しく、日本料理の技を駆使した良い仕事を感じさせるものでした。素材自体は高級な肉や遠くから取り寄せた海鮮などが使われているわけではなく、あくまでも地元でその時期に採れた旬のものばかりでした。一つひとつの料理を提供するときに、まだ若い料理長からその食材や地域の食文化について、詳しい説明があり、地域の自然や季節に対する感謝の気持ちを主客で共にすることができました。

地域の資源を活用してヒット商品をつくるためにはストーリーが重要だと、よく言われます。私自身もこのコラムをはじめさまざまなところで、何度もそのように取り上げています。「信長の水」体験を通じて感じたことは、ストーリーが体験としてお客さんに届き、深く心に刻まれるためには、もう少し必要な条件があるのではないかと思います。

ストーリーは、演劇でいうと脚本のようなもので、それが観客に届くためには、形にして見せる役者や舞台が必要だというような感覚です。今回の私の体験に置き換えてみれば、ストーリーは「信長が追い求めた水の味」であり、それを形にしたのが「一杯の水」や「その水で育った地域の野菜や川魚」で、さらには一つひとつの料理について語ってくれる料理長さんも役者の役割を果たしてくれたといえそうです。舞台装置に相当するのは、それらでいただいた料亭の快適な空間や、美しい器でしょうか。おそらく、信長の水に相当するようなストーリーを持つものは、全国各地に多数あるでしょう。しかし、ただあるだけでは宝の持ち腐れです。もし良いストーリーがあるのにうまく生かせていないと感じるのであれば、もう一度、それを形にする役者と、役者と顧客をつなぐ舞台が機能しているかどうか、チェックしてみたいと思います。

日本商工会議所 早期景気観測 調査結果のポイント LOBO 調査 2023年2月結果

業況DIは、コスト増に価格転嫁が追いつかず悪化。先行きは、物価高と外需減退により慎重な見方。

・全産業合計の業況DIは、▲19.4（前月比▲1.0ポイント）

・小売業では、インバウンド需要の増加により、免税品や高付加価値商品の売上が堅調な百貨店を中心に改善した。一方、建設業では、公共工事の受注減少に加え、建設資材の高騰の影響で悪化した。製造業では、外需の減退から半導体等の電子部品関連を中心に悪化した。また、卸売業では、製造業関連の引き合いが減少し、力強さを欠いている。サービス業では、飲食・宿泊業を中心に需要は増加するも、人材確保等のコスト負担増の影響で、ほぼ横ばいに留まった。業種を問わず、人手不足や資源・エネルギー価格の高騰によるコスト増が続いている。仕入価格高騰のスピードに価格転嫁が追いつかず、中小企業の業況は悪化となった。

・先行き見通しDIは、▲19.2（今月比+0.2ポイント）

・5月8日の新型コロナウイルスの5類への移行に伴う活動正常化で、売上増加を期待する声が小売業・サービス業から聞かれた。一方、活動回復に伴うさらなる人手不足が懸念される。また、エネルギー価格高騰に対する激変緩和措置はあるものの、物価高や賃上げ等、企業のコスト負担増は続いている。米中関係の緊迫化や世界経済の鈍化で外需の減退も懸念される中、先行きは慎重な見方となっている。

詳細は、日商ホームページ（ <https://www.icci.or.jp/lobo/lobo.html> ）を参照。